一般社団法人日本工芸産地協会

・取り組み名称

デジタルとアナログ、地方と大都市の共存を可能にするエコシステムの構築

・取り組み概要

超スマート化が推進される Society5.0 において、デジタルとアナログのバランスの取れた社会、地方と大都市とで均衡のとれた社会のあり様を考え、共存を可能とするエコシステムの構築に取り組みます。

アナログと地方の象徴的存在とも言える工芸が、デジタルと都会に向き合い持続的に成長していく方法を、地域資源活用【工芸】、大学での実践教育【プロジェクトベースドラーニング】、地方への U ターン支援【地方企業】を介して考えていきます。

・未来への宣言

目前に迫った Society5.0

『経済』『人材』がデジタルに集中する傾向が加速しています。一方でデジタルばかりが進化しても、アナログが取り残されれば文化全体の衰退を招くかもしれません。

いのち輝く未来社会とはデジタルとアナログのバランスが取れた社会ではないでしょうか。

デジタルの手を借りつつアナログなものを、都会の力を借りつつ地方に活力を与えたいと考えています。

・提供できるリソース

リソース	内容
ネットワーク	日本各地を代表する工芸企業の情報ネットワークがあります。
情報発信・PR	SNS を通じ常時情報を発信していきます。
技術・ノウハウ	毎年実施する工芸に関する調査情報が蓄積されています。

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

わたしたちの大きな夢は、2025 年大阪・関西万博に日本中、世界中から多くのみなさんが訪れ、そこで得られる知見から人類が豊かな未来、いのち輝く未来社会を描いていくこと。そして、その輪のなかに工芸も一緒に立っていることです。そして、わたしたちの考える未来社会へのビジョンは、『デジタルとアナログ、地方と大都市の共存を可能にするエコシステムの構築』です。このビジョンに向け、地方出身の学生が地方の製品の魅力を発信しその販売手法を実践的に学ぶ店舗の立ち上げなど、具体的な共創チャレンジを創出し、また、このビジョンを共有できる共創チャレンジを支援していきます。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

広域・狭域を問わず、都市と地方が相互に必要な関係性を目指します。都市の大学・教育機関との連携でプロジェクトベースドラーニング（問題解決型学習）の場を提供し、参加者には出身地方の魅力の探求・ビジネスリテラシーの修得を、地方の有力企業には将来の U ターン人材への支援と交流を促します。

・共創していきたい方々

- ・出身地域の魅力を伝えたい思いがあり、ビジネスリテラシーを身に付けたい意欲のある都市在住の学生
- ・実践教育の場を必要とする大学・教育機関
- ・将来の U ターン人材への支援・交流に関心のある地方企業
- ・地方の魅力を知る学生の持つ情報を活用したいと考える企業、自治体